

## 「英語で書く基本が身につく本」の補足

1. プレイン・イングリッシュの文の つなぎ方
2. わかりやすい英文報告書の作成方法

### 1. プレイン・イングリッシュの文のつなぎ方

#### はじめに

プレイン・イングリッシュの文体を使った文章の中で、どのように小文と小文をつなげたらよいかを、米国環境保護局のプレイン・イングリッシュで書かれた「大気汚染防止法の要約」を例に使って調べてみます。

日本語で考えたことや日本語で書かれたものを英文で表現するときの基本はつぎのとおりです。

- (1) 日本文を最小の内容を持つ小文に分解する。
- (2) この日本語の小文を英語の基本文型を使った小文で表現する。
- (3) 英語の小文と小文を、必要に応じて、論理的につなげる。
- (4) プレイン・イングリッシュの文体を使う。

上のそれぞれの項目については「英語で書く基本が身につく本」で説明してあります。

プレイン・イングリッシュの基本のひとつに、内容を読者に明確に伝えるために「短い文で書く」があります。これは日本語を母語とする私達にとって大切な英語を書くときの基本です。私達は日本語で考えるときは先ず小文で考えるのですが、いざ考えを文章にまとめるとなると長い文を書く傾向があります。日本文では、文のはじめに状況などを修飾節でのべてから、文の最後に述語をつけて文を完結させます。また日本語の動詞と形容詞の変化、助詞の多様さと柔軟性を使って小文を次々とつなげていくことが容易です。このために文が長くなります。

このような日本語の発想法に慣れているので、英文を書くときにも長い文を書かないと落ち着きません。そして英文でも日本文のようにいろいろと関連した内容をひとつの文に入れて英文を書くこととして苦勞します。これが英文を書くことを必要以上に難しくしている原因のひとつでしょう。

ではこのような苦勞をせずに、小文だけで構成された英文を書いたらどうでしょうか？

小文だけの文章でも、小文の順序を工夫することによって、効果的に内容を伝える文章が書けます。小文だけで構成された文章は読者の注意が個々の小文に注がれるために、文章全体としての内容の把握に時間がかかります。これは読者が頭の中で小文と小文のつながり方を考えるためです。このような作業を読者にさせないために、小文と小文をつなぐ必要があります。また複雑な内容を読者に伝えるために、小文と小文の間の関係を明確に読者に示す必要もあります。このように小文だけで構成された文章には内容を正確に、読みやすく読者に伝える上で制約があります。

日本語で考えたことを小文で表現できるようになったら、次に小文と小文を効果的にそして論理的につなげる方法を習得する必要があります。

ではブレイン・イングリッシュの文体を使って書いた実務文では、どのように、そしてどの程度に小文と小文をつなげたらよいのでしょうか？まずは小文と小文のつなぎ方の基本を簡単に整理してみましょう。

## 小文と小文のつなぎ方の分類

### 1. 文頭に副詞、副詞句を使う

I missed my regular bus this morning.

I had to take a taxi.

I missed my regular bus today this morning. As a result, I had to take a taxi.

### 2. 並列につなぐ

等位接続詞 ( and, but, or, nor, for, so, yet ) で文をつなぐ

My wife was happy.

I was not happy.

My wife was happy but I was not.

コロんで文をつなぐ

There are three principles for good public speech.

Know your audience.

Know yourself.

Use all means of communications.

There are three principles for good public speech: know your audience, know yourself, and use all means of communications.

セミコロんで文をつなぐ

I was very pleased with his performance.

It was much more than what I had expected.

I was very pleased with his performance; it was much more than what I had expected.

### 3. 従属節でつなぐ

完全な形の従属節で文をつなぐ

I heard the news.

I was so pleased.

When I heard the news, I was so pleased.

簡略化された従属節で文をつなぐ

I heard the news.

I was so pleased.

Hearing the news, I was pleased.

I was pleased with the news.

I phoned him.

Pleased with the news, I phoned him.

I heard the news.

I was so pleased.  
To hear the news, I was pleased.

比較の従属節で文をつなぐ

I was so pleased.  
I phoned him.  
I was so pleased that I phoned him.

#### 4. 関係詞節でつなぐ

完全な形の関係詞節で文をつなぐ

I heard the news.  
The news took my by surprise.  
I heard the news that took me by surprise.

関係詞の省略された形の関係詞節で文をつなぐ

I phoned.  
The first person was my wife.  
The first person I phoned was my wife.

簡略化された形の関係詞節で文をつなぐ

I heard the news.  
The news was broadcast on the radio.  
I heard the news broadcast on the radio.

I heard the news.  
The news announced the approach of a typhoon.  
I heard the news announcing the approach of a typhoon.

#### 5. 名詞節で文をつなぐ

why, how 等の関係副詞で始まる名詞節で文をつなぐ

This is exactly the product.  
I wanted this product.  
This is exactly what I wanted.

I do not know the way.  
You manage this.  
I do not know how you manage this.

That で始まる名詞節で文をつなぐ

I am pleased.  
You have received a job offer.  
I am pleased that you have received a job offer.

#### 6. 小文の内容をを他の小文に組み込んで文をつなぐ

### 不定詞の名詞用法

His first priority is this.  
He finds a job.  
His first priority is to find a job.

### 不定詞の形容詞用法

I have a dream.  
I want to go to France.  
I have a dream to go to France.

### 不定詞の副詞用法

He takes an English lesson.  
He wants to speak English.  
He takes a lesson to speak English.

### 主語 + 動詞 + 目的語 + to do

I told you.  
You come here right away.  
I told you to come here right away.

### 現在分詞の名詞用法（動名詞）

You always complain about your job.  
This will not lead you anywhere.  
Always complaining about your job will not lead you anywhere.

### 現在分詞の形容詞用法

A baby is crying.  
It makes me nervous.  
A crying baby makes me nervous.

### 過去分詞の形容詞用法

Leaves were scattered.  
Leaves covered the street.  
Scattered leaves covered the street.

### S+V+O+現在分詞

I saw him.  
He was singing in a Karaoke bar.  
I saw him singing at a Karaoke bar.

### S+V+O+過去分詞

I watched her.  
She was applauded by the audience.  
I watched her applauded by the audience.

## プレイン・イングリッシュの文の長さ

では次に上のような小文のつなぎ方がどの程度にプレイン・イングリッシュの文章の中で使われているか検証してみましょう。例文として米国環境保護局が作成したプレイン・イングリッシュによる大気汚染防止法の要約

[http://www.epa.gov/air/oaqps/peg\\_caa/pegcaain.htm](http://www.epa.gov/air/oaqps/peg_caa/pegcaain.htm) を使います。

この報告書は短いもので文の総数は 404 です。文の長さを単語数ではかり、この報告書の文の長さの分布を取ってみました。

### 大気汚染防止法の要約の文の長さ

語数	文の数の%	累積%
10語以下	13	13
11 - 20語	50	63
21 - 30語	26	90
31 - 40語	8	98
41語以上	2	100
文の総数	404	

20語以下の短い文が全体の63パーセントを占めています。文章を構成する文の長さは相対的なものなので他の文章と比較してみました。英語の新聞で文章が読みやすいという定評のある The Christian Science Monitor <http://www.csmonitor.com/> の報道記事では20語以下の文が文章の56パーセントです。また The New York Times の書評ページにあるノンフィクションのサンプル <http://www.nytimes.com/pages/books/chapters/index.html> では20語以下の文が全体の44パーセントです。このことからプレイン・イングリッシュの文章は他の文章に較べて短い文を多用していることがわかります。

大気汚染防止法の要約では10語以下の文も文章全体の13パーセント使われています。下にこの報告書の最初の部分をコピーしました。

### Why should you be concerned about air pollution?

Air pollution can make you sick. It can cause burning eyes and nose and an itchy, irritated throat, as well as trouble in breathing. Some chemicals found in polluted air cause cancer, birth defects, brain and nerve damage and long-term injury to the lungs and breathing passages. Some air pollutants are so dangerous that accidental releases can cause serious injury or even death.

上の文章ではこの報告書全体の問題意識として Why should you be concerned about air pollution? と簡潔に疑問を提示しています。また次の段落の最初の文は Air pollution can make you sick. とこの段落の主要点を短く書いています。このように短く要点を書いた文は読者に強い印象を与えます。文章の主題を簡潔に短い文で述べてから、もう少し長い文を使って主題の内容を説明する、という書き方は読者の注意をひきつけ、文章を読んでみようという好奇心を起こすために効果的です。

次に 41 語以上の長い文の例を見てみましょう。大気汚染防止法の要約にはこのような長い文は次の 2 例しかありません。

#### 例 1

Since smog travels across county and state lines, when a metropolitan area covers more than one state (for instance, the New York metropolitan area includes parts of New Jersey and Connecticut), their governments and air pollution control agencies must cooperate to solve their problem.

この長い文を小文に分けて表現すると次のようになります。

Smog travels across county and state lines. But a metropolitan area covers more than one state. For instance, the New York metropolitan are includes parts of New Jersey and Connecticut. Therefore, the governments and air pollution control agencies in these counties and states must cooperate to solve their problem.

もとの長い文では since と when を使った修飾節で小文をつなげています。小文で表現したときに較べて、文と文との因果関係がはっきりしています。また修飾節が並列に文の中に入っているため、文の長いですが読者はそれぞれの修飾節の内容を理解しながら次に進むことができます。

#### 例 2

We should see improvement as sulfur dioxide and nitrogen oxide levels decline, resulting in decreased acid rain and acid aerosols, but we don't know exactly how long it will take to restore lakes and streams and we don't know exactly what the lakes and streams and their inhabitants, including fish, will be like when air pollution is reduced.

この長い文も小文に分けて表現すると次のようになります。

We should see improvement as sulfur dioxide and nitrogen oxide decline. This will result in decreasing acid rain and acid aerosols. But we don't know exactly how long it will take to restore lakes and streams. Moreover, we don't know exactly what the lakes and streams and their inhabitants, including fish, will be like when air pollution is reduced.

もとの文の長い理由の一つは sulfur dioxide, nitrogen oxide, acid rain, acid aerosols などの技術的な用語を文中に入れる必要があるためです。文全体の構成は内容が文の最初の部分から順順に後ろに並列に続くようになっているので、読者にわかりやすくなっています。小文で表現した 1 番目と 2 番目の文はもとの文のように We should see improvement as sulfur dioxide and nitrogen oxide levels decline, resulting in decreased acid rain and acid aerosols. とひとつの文にしたほうが因果関係がはっきりします。3 番目と 4 番目の小文は、このように分けたほうがもとの長い文より読みやすくなると思います。

以上の検証からプレイン・イングリッシュの文の長さについて一般的に次のことが言えます。

- ( 1 ) プレイン・イングリッシュでは短い文を書く ( 平均ひとつの文に 20 語前後 )
- ( 2 ) 10 語前後のごく短い文を段落の主題や、読者に内容を強調して伝えたいときに有効に使う。
- ( 3 ) 因果関係を明確にしたいときには修飾節を入れて文が長くなっても良い。ただし、

修飾節は文の中に並列に入れて、文全体の構造を簡単にする。

### 段落の長さ

大気汚染防止法の要約の段落の大きさを段落の中の文の数で調べてみました。次の表のような分布になっています。

文の数	段落の数
1	18
2	28
3	20
4	17
5	7
6	1
7	2
8	1
9	1

段落中の文の数の平均は 2.9 です。この報告書の段落はとても短いことが特徴です。それぞれの段落で要点をひとつだけ述べてることで、読者が報告書全体を読むやすいようにしてあります。インターネットでこの報告書をご覧になるとわかりますが、短い段落の多い報告書は段落と段落の間に空間があるので、読者が報告書を読むときに、いまどこを読んでいるのか、視覚的にも明確になります。

プレイン・イングリッシュでは文を短く書くだけでなく、段落も要点をひとつだけ述べて短くします。

### 小文と小文のつなぎ方

大気汚染防止法の要約を「小文と小文のつなぎ方の分類」によって、一つ一つの文のつなぎ方の調べて、分布を取ると下の表のようになりました。表の中の文のつなぎ方を例を挙げて調べてみます。

大気汚染防止法の要約の小文の連結方法の使用頻度

連結方法	頻度	パーセント
文頭に副詞、副詞句を使う	17	4
並列につなぐ		
接続詞( and, but, or, nor, for, so, yet) でつなぐ	34	8
コロンでつなぐ	2	0
セミコロンでつなぐ	18	4
従属節でつなぐ		
完全な従属節でつなぐ	61	15
簡略化された従属節でつなぐ	3	1
比較の従属節でつなぐ	4	1
関係詞節でつなぐ		
完全な関係詞節でつなぐ	41	10
簡略化された関係詞節でつなぐ	35	9
名詞節でつなぐ		
why, how等の関係副詞で始まる名詞節で内容を説明する	18	4
thatで始まる名詞節で内容を説明する	14	3
小文の内容を他の小文に組み込む		
不定詞の名詞節を主語にする用法	0	0
不定詞の形容詞用法	12	3
不定詞の副詞用法	9	2
主語+動詞+目的語+to do	5	1
現在分詞の名詞用法(動名詞)	9	2
現在分詞の形容詞用法	0	0
過去分詞の形容詞用法	0	0
S+V+O+現在分詞	1	0
S+V+O+過去分詞	0	0
文の総数	404	

### 文頭に副詞、副詞句をつかう

小文と小文の内容をつなげる一番簡単な方法は、文頭に副詞、副詞句を使うことです。このような副詞、副詞句は次の例のようにたくさんあります。

Also, however, otherwise, consequently, indeed, similarly, finally, likewise, then, furthermore, moreover, therefore, hence, nevertheless, thus, nonetheless, thus, nonetheless, besides, as a result, for example など。

大気汚染防止法の要約では報告全体の 404 文中に、このような文頭の副詞、副詞句が 17 回 (4 パーセント) 使われています。now, typically, for instance, first, then, also, otherwise, unfortunately, in the meantime が使われています。次に 2 例をあげます。

例 1



These new flexible programs are called market or market-based approaches. For instance, the acid rain clean-up program offers businesses choices as to how they reach their pollution reduction goals.

#### 例 2

Here's how the 1990 Clean Air Act reduces pollution from criteria air pollutants, including smog. First, EPA and state governors cooperated to identify non-attainment areas for each criteria air pollutant.

文頭に使える副詞、副詞句の種類は多いですが、大気汚染防止法の要約で使われている副詞、副詞句の種類は少なく、また頻度も低いことがわかります。プレイン・イングリッシュでは文章の中の文の構成に注意をして、文頭の副詞、副詞句が無くても、文から文へと読者が内容のつながりがわかるようにします。文頭の副詞、副詞句が多いと文章を読んだときに煩瑣な印象になります。

#### 小文と小文を接続詞で並列につなぐ

並列接続詞 and, but, or, nor, for, so, yet を使って、二つの同じ程度の内容を持つ小文をつなげる方法は、小文の連結の基本です。大気汚染防止法の要約でもこのような小文の連結は 404 文中に 34 回使われています。and が一番多く使われていて 19 回、but が 9 回、or が 3 回、so が 3 回です。いくつかの例を見てみましょう。

#### 例 1

The 1990 Act could change the way you work or do business, and it could, in some ways, change the way you live.

#### 例 2

The law allows individual states to have stronger pollution controls, but states are not allowed to have weaker pollution controls than those set for the whole country.

#### 例 3

What if a company wants to expand or change a production process or otherwise increase its output of a criteria air pollutant?

#### 例 4

The deadlines in the 1990 Clean Air Act were designed to be more realistic than dead- lines in previous versions of the law, so it is more likely that these deadlines will be met.

二つの小文を独立して並べるよりも、接続詞によって文をつなぐことによって、文と文の間の関係を示すことが出来ます。例 1 では and で並列につないだ二つの文の主語は同じですが、2 番目の文の内容は、in some way という句で条件がつけられています。このために、and の前にコンマがあり、読者に一呼吸おいて次の文を理解することを促しています。もし、in some ways という条件がなければ、次のようにコンマのない連結をしましょう。

The 1990 Act could change the way you work or do business and also could change the way

you live.

例 2 と例 4 では二つの文の主語が違います。このようなときには一般的に接続詞の前にコンマを入れて読者に最初の文の内容を理解してから、次の文の内容を理解するように促します。

例 3 では二つの小文の主語が同じで、内容の関連性が高いので、2 番目の文の主語は省略され、また接続詞の前にコンマを入れません。

### 小文と小文をセミコロンので並列につなぐ

セミコロンを使って小文をつなぐ方法については上級問題の添削 6 で説明しましたが、ここにコメントをコピーします。

「英語で書く基本が身につく本」の 152 ページで、セミコロンの使い方の説明を「文と文の間の接続詞を省略するとき、文と文の関係があまり密接でないときに、セミコロンを使います。」と書きましたが正確ではありませんでした。

次のように説明すべきでした。「二つの文を接続詞の and, or, but, yet で結ぶことが出来るときに、接続詞を省略して、セミコロン (;) を使うことがある。セミコロンはセミコロンの前後の文の内容が関係していることを示し、(1) 接続詞で結ばれたもとの文を二つの短い文に分けることで、文章を読みやすくする、(2) セミコロンの前後の文を対比させる、(3) セミコロンでセミコロンの前の文が後の文に続く感じを読者に起こして後の文を強調する、効果があります。」

セミコロンでつなげる二つの小文はそれぞれが独立しても内容が伝わる文でなければいけません。すなわち、セミコロンの代わりにピリオドを使っても文章の意味が通じるときに、特殊な効果をつくるためにセミコロンを使います。

大気汚染防止法の要約ではセミコロンが 18 回 (全体の文の数の 5 パーセント) 使われています。セミコロンの使用頻度が高いのが現代実務文の特徴です。プレイン・イングリッシュ以外の文体の文章でもセミコロンがよく使われます。まずは大気汚染防止法の要約中のセミコロンの用例を見てみましょう。

#### 例 1

Permit applications and permits are available to the public; contact your state or regional air pollution control agency or EPA for information on access to these documents.

#### 例 2

This summary includes a section on Consumer Products; see that section for information on how the Clean Air Act will affect products you use every day.

例 1 と例 2 ではセミコロンの後の文は前の文の補足説明です。セミコロンの代わりにピリオドを使って二つの独立した文にした場合と較べると、セミコロンによって二つの文のつながりが強くなる感じがします。この「感じが強くなる」ということは、セミコロンを使った文章をいろいろな機会に読んでみると、だんだんとセミコロンを使った文に共通する感じがつかめてきて、「なるほど、セミコロンの使い方にはこのような共通な修辞法が出来て

きているのだな」とおもうようになることだと思います。私はセミコロンがあまり使用されなかったところに英作文の訓練を受けたせいか、セミコロンの使い方がいまだに不得意です。

### 例 3

Sources that stay in one place are referred to as stationary sources; sources that move around, like cars or planes, are called mobile sources.

### 例 4

One set of limits (primary standard) protects health; another set of limits (secondary standard) is intended to prevent environmental and property damage.

例 3 と例 4 はセミコロンを二つの文の対比に使っています。セミコロンを while と置き換えられます。while を使った場合に較べて、文が簡潔になる、文に緊張感が生まれるという利点があります。

### 例 5

Acid rain does more than environmental damage; it can damage health and property as well.

### 例 6

Keep an eye on the Clean Air Act; it could change your life!

例 5 と例 6 では、二つの独立した文にしたときに較べて、セミコロンでつなぐことによって文と分の間に緊張感が生まれます。話し言葉の例にすれば、ピリオドでは二つの文の間に一呼吸おくのにたいして、セミコロンはもっと短い半呼吸の間をとって聞き手を話しに誘い込むといった感じです。

セミコロンはプレイン・イングリッシュによく使われるので、セミコロンを使った文にであったら注意してどんな感じで使っているのか考えてみましょう。このようにすればだんだんと使いか他のコツが身につくと思います。

## コロンを使って文をつなげる

コロンの使い方では一番多いのは箇条書きの前です。箇条書きは内容の整理に有効な方法であり、また視覚的にも読みやすいのでプレイン・イングリッシュの実務文によく使われます。大気汚染防止法の要約では 2 回使われています。使用頻度が少ないのは、この報告書は段落が短くて読みやすくなっているためと、要約なので詳細な例を並べてあげることが無いためです。

### 例 1

At present the United States:

- Motor vehicles are responsible for up to half of the smog-forming VOCs and nitrogen oxides (NOx).

- Motor vehicles release more than 50 percent of the hazardous air pollutants.
- Motor vehicles release up to 90 percent of the carbon monoxide found in urban air.

## 例 2

These are acid chemicals, related to two strong acids: sulfuric acid and nitric acid.

### 従属節でつなく

二つの小文の一方（従属節）がもう一方（主節）の内容の目的、条件、目的、理由、時間などの因果関係を示すときには as, since, because, if, when などではまるる文で従属節をつくって二つの文をつなぎます。文と文の因果関係をしめすために大切な文のつなぎ方なのです。大気汚染防止法の要約でも 6 8 回と多く使われています。次に例を示します。

#### 例 1 完全な従属節

Although the 1990 Clean Air Act is a federal law covering the entire country, the states do much of the work to carry out the Act.

You can sue the government or a source's owner or operator to get action when EPA or your state has not enforced the Act.

The smog-forming reactions take place while the pollutants are being blown through the air by the wind.

Some air pollutants are so dangerous that accidental releases can cause serious injury or even death.

Plants may only release as much sulfur dioxide as they have allowances.

#### 例 2 簡略化された従属節

Starting with model year 1994, engines for new big diesel trucks will have to be built to reduce particulate (dust, soot) releases by 90 percent.

Beginning in the year 2000, annual releases of sulfur dioxide will be about 40 percent lower than the 1980 levels.

Based on new scientific evidence, revisions have been made to both standards.

従属節を完全な従属節（基本文型になっているもの）と簡略化された従属節（分詞構文といわれるもの）に分けてみると、完全な従属節が 6 1 回、簡略化された従属節は 3 回使われています。簡略化された従属節は、従属節というより慣用句です。

小説では表現の多様化のために、簡略化された従属節がよく使われますが、ブレイン・イングリッシュの実務文では、内容の正確な伝達のために、簡略化された従属節はあまりつかいません。従属節を使うときは完全な形で使うことが多いです。

### 関係詞節（関係代名詞節、関係副詞節）でつなく

大気汚染防止法の要約のなかで関係詞節は404文中に76回(19パーセント)と多用されています。日本語の文の構成は先ず修飾節で状況を述べてから、文の最後の述語を置きますが、英語では文の主題を簡略に述べてから、修飾節で状況を説明します。このときに関係詞節がよく使われます。このような構文を持つ英語では関係使節を使って、文をいくらでも長くすることができます。

Today, I am going to see Mr. Tanaka whom I met at a party the other day which was given in honor of Mr. Suzuki who published a book on English grammar that has been the subject of his research for the last thirty years.

修飾節が述語の前に長々と続く日本文が読みにくいのと同様に、主題をのべてから修飾節がいくつも続く英文も読みにくいものです。関係詞節は英語の小文をつなぐ基本のひとつですが、プレイン・イングリッシュでは関係詞節を使った文が長くならないように注意します。

関係詞節には関係詞と関係詞のあらかず名詞を省略する簡略化された形があります。大気汚染防止法の要約の文章では完全な形の関係詞節が41回、簡略化された関係詞節が35回使われています。次に例を見てみます。

#### 例1(完全な形の関係詞節)

限定用法:

States have to develop state implementation plans (SIPs) that explain how each state will do its job under the Clean Air Act.

In areas where the weather is dry, the acid chemicals may fall to Earth in gases or dusts.

Acid air pollution has been linked to breathing and lung problems in children and in people who have asthma.

There are stiff penalties for plants which release more pollutants than their allowances cover.

大気汚染防止法の要約の文章では完全な形の関係詞節は限定用法に32回、非限定用法に9回使われています。

That と which を関係代名詞の限定用法と非限定用法にどのように使用するかについての議論があります。Margery Fee and Janice McAlpine, *Oxford Guide to Canadian English Usage*, (Toronto: Oxford University Press, 1997) は次のように述べています。

「文法の本には限定用法には that、非限定用法には which とするものが多いが、実際には文筆家は関係代名詞の限定用法に that と which の両方を自由に使っている。ただし非限定用法に that を使用する人はごくまれである。そもそも限定用法には that、非限定用法には which ということが文法の本に書かれるようになったのは、英語の語法の本の定番とされる H. W. Fowler の *Fowler's Modern English Usage* から始まった。しかし Fowler は、that と which がともに限定用法に使われていることを認め、もし that が限定用法に which が非限定用法にという規則をあったら便利であろう、と言っているにすぎない。」

大気汚染防止法の要約の中では限定用法に that と which の両方が使用されていますが、that が 21 回、 which が 3 回です。that のほうが which より語感が強いので、名詞が修飾節で限定されていることを強調するときには which より that が多く使われるのでしょう。関係代名詞の限定用法には that と which のどちら使ってもよい。しかし関係詞節で修飾された名詞を強調したいときは that を使うのが近年の傾向である、といえるとおもいます。

非限定用法：

The 1990 Clean Air Act provides for interstate commissions on air pollution control, which are to develop regional strategies for cleaning up air pollution.

Buses and trucks, which produce a lot of pollution, haven't had to clean up their engines and exhaust systems as much as cars.

These guidelines, which are not requirements, include design information for less-polluting stoves and fireplaces.

大気汚染防止法の要約の文章では上の 2 番目、3 番目の例のように非限定用法は文の中に短い節として挿入されたものが大部分です。一番目の例のように文を非限定用法で長く補足して説明する例は少ないです。このよう時には補足説明を独立した文としたほうが読者にわかりやすくなるからです。

例 2 (簡略化された形の関係詞節)

大気汚染防止法の要約の文章では簡略化された形の関係詞節は 404 文中 35 回 (9 パーセント) 使われています。ブレイン・イングリッシュでよく使われる文のつなぎ方といえます。

限定用法：

Businesses seeking permits have to pay permit fees much like car owners paying for car registrations.

Gases escape from liquid gasoline and form a vapor in a process called vaporization or evaporation.

The sulfur dioxide and nitrogen oxides released from the Midwestern power plants rise high into the air and are carried by winds toward the East Coast of the U.S. and Canada.

上の例のように、限定用法は文中の名詞を短い修飾節で説明する場合に使われています。簡略化された関係詞節が長くなると文の構造がわかりにくくなりますから、ブレイン・イングリッシュでは避けます。

非限定用法：

Air pollution can cause haze, reducing visibility in national parks and sometime interfering with aviation.

Ground-level ozone is produced by the combination of pollutants from many sources,

including smokestacks, cars, paints and solvents.

Air pollution monitoring stations are set up all over the country, collecting information on various pollutants.

非限定用法は文の補足的な説明で、文の最後についています。1 番目の例を接続詞で書きなおすと次のようになります。

Air pollutions can cause haze and reduces visibility in national parks and sometimes interferes with aviation.

簡略化された関係代名詞を使うことによって、主節の Air pollutions can cause haze を強調し、補足説明を従属節にすることができます。

### 名詞節でつなく

大気汚染防止法の要約の文章では why, how 等の関係副詞で始まる名詞節で内容を説明した文が 1 8、that で始まる名詞節で内容を説明した文が 1 4 あります。プレイン・イングリッシュで文をつなぐときに大切な方法です。次の例を見てみましょう。

例 1 ( why, how 等の関係副詞で始まる名詞節で内容を説明する )

The permit includes information on which pollutants are being released, how much may be released, and what kinds of steps should be taken.

許可書には放出する汚染物質の種類、量、放出の手段が明記されている。

What we typically call smog is primarily made up of ground-level ozone.

スモッグと通常いわれるものは主に地表に近いところにあるオゾンで生じる。

Newspapers, radio and television will report on how the Act is being carried out, both nationally and in your local area.

新聞、ラジオ、テレビが全国と地域における大気汚染防止法の施行状況を報道します。

関係副詞で始まる名詞節はプレイン・イングリッシュでよく使われますが、日本人には使い方のコツを覚えるのが難しい文のつなぎ方です。これは日本語の表現方法と大分相違があることによります。上の英文例を日本語で表現してみました。この日本語を英文で表現してみましょう。1 番目の例だと関係副詞を使わずに次のようにすると思います。

The permit specifies the kinds and amounts of pollutants to be released and the method to be used for each company.

プレイン・イングリッシュでは内容をなるべく具体的に表現します。そしてこのためには名詞句より動詞の入った関係副詞で始まる名詞節を使います。

The kinds of pollutants to be released ---> which pollutants are being released

The amounts of pollutants to be released ---> how much may be released

The method to be used ---> what kinds of steps should be taken

例 2 ( that で始まる名詞節で内容を説明する )

This ensures that all Americans have the same basic health and environmental protections.  
大気汚染防止法は（全てのアメリカ人が同等の健康と環境の保護を受ける権利を持つことを）保障する。

In the mid 1970s, scientists suggested that chlorofluorocarbons (CFCs) could destroy stratospheric ozone.

70年代に科学者が（CFCが成層圏のオゾンを破壊することを）指摘した。

Other states can require that cars meeting the California standards be sold in their states.  
他の州政府も（カリフォルニア州基準に合格した自動車だけを販売することを）要求できる。

How will you know the Clean Air Act is improving the environment?

（大気汚染防止法が環境を改善しているのが）どうしてわかりますか？

上の例では名詞節は主節の目的語になっていますが、内容的には文の一番大切な部分を構成します。日本語では（～であること、～すること、～を）などの表現になっているところを、英文では that で始まる名詞節で表現することが出来ます。

#### 小文の内容を他の小文に組み込む

ひとつ小文の内容を他の小文に不定詞、分詞を使った句として組み込む方法はたくさんあります。いずれも「小文と小文のつなぎ方の分類」の例で示したように関係詞節、従属節が簡略化された形と見ることが出来ます。

例

I have a dream.

I want to go to France.

I have a dream that I go to France.

I have a dream to go to France.

簡略化にはいろいろの方法がありますが、大気汚染防止法の要約の文章では次のような方法が多く使われています。

不定詞の形容詞用法（12回）

例

Governments on the East Coast from Maine to Washington, D.C., will have to work together in a multi-state effort to reduce the area's smog problem.

地域のスモッグを軽減するための多数の州による努力

Throughout the Act, the public is given opportunities to take part in determining how the law will be carried out.

大気汚染防止法がどのように施行されかを定めることに参加する機会

The Clean Water Act requires permits to release pollutants into lakes, rivers or other waterways.



汚染物質を河川、湖沼や他の水流に放出する許可証

上のように英文の名詞を形容する不定詞用法は、日本文では動詞の連体形になっている場合が多いです。このよう時には先ずは関係代名詞を使って文をつないでみます。1番目の例は関係代名詞を使えば次のようになります。

Governments on the East Coast from Maine to Washington, D.C., will have to work together in a multi-state effort that will reduce the area's smog problem.

ここで関係代名詞のままにするか、または不定詞の形容詞用法にするかは、関係代名詞で補足した修飾節の内容がどれだけ名詞と密接な関係を持っているかによります。関係代名詞の限定用法で表現するよりもっと密接な関係を持つ場合は不定詞の形容詞用法が使えます。

不定詞の副詞用法（9回）

例

Auto inspection provisions were included in the law to make sure cars are well maintained.  
自動車が整備されていることを確認するために、～

You can sue the government or a source's owner or operator to get action when EPA or your state has not enforced the Act.

環境保護局やあなたの住んでいる州が大気汚染防止法を施行しないときに何らかの行動と取るように、～

The deadlines in the 1990 Clean Air Act were designed to be more realistic than dead- lines in previous versions of the law, so it is more likely that these deadlines will be met.

従来の法律に含まれていた期限よりももっと現実的なものにするために、～

上の例では不定詞は文全体を修飾しています。1番目の例では不定詞は次のような目的をあらわす従属節を簡略にしたものです。

Since we wanted to make sure cars are well maintained, auto inspection provisions were included.

このような不定詞の副詞用法は日本文との関連がはっきりしているので、比較的やさしいと思います。

主語 + 動詞 + 目的語 + to do（5回）

例

The law allows individual states to have stronger pollution controls, but states are not allowed to have weaker pollution controls than those set for the whole country.

The 1990 Clean Air Act ordered EPA to set up clearinghouses to collect and give out technical information.

このような不定詞は限られた動詞(使役動詞)との組み合わせで使われます。A makes B (to) do B. という形です。I allowed him to attend my lesson. のように人称を主語にして使うことはやさしいですが、上の2例のように非人称を主語にする使い方はなかなか難しいです。

現在分詞の名詞用法(動名詞)(9回)

例

Requiring polluters to apply for a permit is not a new idea.

In addition to requiring the phasing out of production of ozone-destroying chemicals, the Clean Air Act takes other steps to protect the ozone layer.

上の1番目の例は次の文の簡略化されたものです。

That we require polluters to apply for a permit is not a new idea.  
汚染物質を排出する企業に認可の申請を義務付けること新しいアイデアではない。

上の二つの文を動詞の名詞化を使って次のように表現することも出来ます。

Permit requirement for polluters is not a new idea.

In addition to the requirement that production of ozone-destroying chemicals should be phased out, the Clean Air Act takes other steps to protect the ozone layer.

しかしブレイン・イングリッシュでは動詞の名詞化より動詞自体を使った動名詞のほうが、文の内容のイメージが明確になります。

終わりに

大気汚染防止法の要約を例にを使ってブレイン・イングリッシュにおける小文と小文のつながり方を見ました。ブレインイングリッシュでは、基本文型を用いて短い文で文章を書く、基礎的な文のつながり方を使って文章全体を論理的に構成する、の二つが大切です。この二つのことを習得することで、十分に実用に耐える英文を書くことができます。

## 2. わかりやすい英文報告書の作成方法

わかりやすい英文報告書の作成方法を梗概(outline)、段落(paragraph)を重点にして説明します。「英語で書く基本が身につく本」の第10章と第11章の補足になります。

英文報告書といっても状況によりいろいろな内容のものがありますが、ここでは私がコンサルタント業務で書いた調査報告書を例に使います。コンサルタント業務の報告書では顧客の求める情報を探し、分析し、整理して顧客に役立つ提案をする、が要点になりますが、この報告書に使ったわかりやすい英文報告書作成のための技術は他の種類の報告書にも応用できると思います。

**わかりやすさの要素**

報告書が読者にとってわかりやすいためには次のような要素が必要です。これらの要素は日本語の報告書と英語の報告書の両者に共通するものです。

1. 読者の求める情報を事前に明確にして、この情報だけに限定して報告書を書く。余計な情報は書かない。
2. 読者の報告書の内容に関する基礎知識に合わせて説明の詳しさを決める。必要以上に詳しい説明はしない。
3. 結論をみちびいた過程を説明し、結論は明確にはっきりと書く。

以上は 言うは易く行なうは難し ですが、報告書を書くときに常に自問自答してチェックする必要があります。私のコンサルタント稼業の経験でも上の(1)(2)の想定が十分でないためにプロジェクトが予定期間以内に終わらず苦労することがあります。

英文報告書は日本文報告書の較べて、うへの三点を踏まえて報告書を書く説明技術がよりよく確立していると思います。このような説明技術を理解すれば、英文報告書を作成することがやさしくなります。

## 報告書の概略の設定

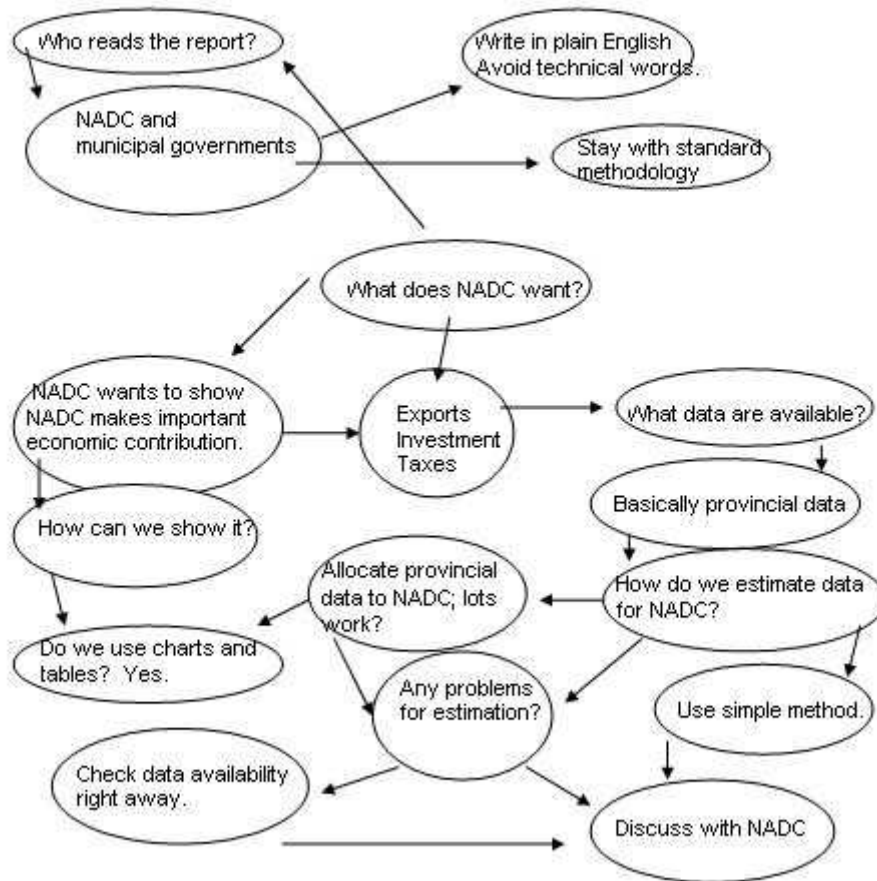
報告書作成の第1段階として報告書に書く問題点(issues)と視野(scope)を仮に設定して、調査を始めます。調査は読者との面接調査、標本調査、文献調査などがあるでしょう。それぞれの調査の結果を短くまとめます。文献調査の場合は短く要点をまとめることと出典の記録をとることが特に大切です。文献を引用するときは文献の要点を自分の言葉で報告書に書くわけなので、長い引用をコピーしていると時間ばかりかかってあまり役にたちません。

ある程度の調査結果が集まった段階で報告書の梗概をつくります。梗概は報告書の構成を決めるもので報告書作成の鍵になります。概要の作成にはいろいろな方法がありますが、私は次のような方法を使っています。

大きな紙を広げて報告書の問題点をごく短く書き、丸で囲う。それぞれの調査結果をやはり短く書き丸で囲う。問題点と調査結果の関係を線で結び、どのように関連してるか論理関係を視覚的に明らかにする、新たな問題点、興味のある関係を書き込んで丸で囲む。この丸と線で埋まった大きな紙(報告書の全体像)を眺めて報告書の構成を考えていると、時には丸と丸との新しい関係が浮かび上がって新しい発見やインスピレーションがあります。

この丸と線の方法はいろいろな名前では呼ばれていますが、わたしはマッピング(mapping)とよんでいます。マッピングの例として私のコンサルタント報告書のためのマッピングを載せておきます。

## Mapping for NADC Project



このコンサルタント報告書を概要、段落の例にも使うので、はじめに報告書の背景を説明します。

私の住むカナダ アルバータ州は人口が約3百万、面積は日本の約2倍あります。州都エドモントンから北は冬の気候が特に厳しく、面積は日本ほどありますが人口はわずか28万です。しかし森林、天然ガス、石油資源が豊富で、特にオイルサンドという石油が砂岩に浸透したものの確認埋蔵量は中東の石油に近いといわれています。オイルサンドには露天掘りで掘ったものを砕き化学処理して石油を抽出する方法と、地下のオイルサンド層までパイプを入れ、熱湯で石油を抽出する方法があります。どちらも大規模開発が必要で開発費は通常の石油に比べて高くなります。現在はまだ露天掘りが主体です。露天掘りのオイルサンドを運ぶダンプトラックのタイヤは日本製ですが直径が3メートルぐらいあります。

この地域にアルバータ政府の公社である Northern Alberta Development Council（北方アルバータ開発会議）という組織があり、地域の市町村と協力して経済、社会開発の推進をしています。報告書の作成はこの公社から依頼されました。目的は、北方アルバータは少ない人口にもかかわらず、アルバータ経済に多大の貢献をしている、ということを経済統計を使って明らかにし、民間企業と政府の関心を引いて経済開発を促進しよう、というもので

す。

## 梗概 (outline)と見出し (headline)

次にマッピングから梗概を作ります。マッピングではいろいろな項目が丸と線で多重的に関係していますが、紙にタイプまたは印刷する報告書は一枚一枚紙をめくって内容を読みますから、マッピングの多重的な関係を一元的、直線的な構成に移し変えなくてはなりません。

コンピューターを使って読むことを前提とした報告書では項目と項目、映像、音声、図表へのリンクなど、読者とのインタラクティブな関係を使った報告書を作成できます。このような形の報告書がこれから増えると思います。このような報告書をわかりやすく書く技術は紙の報告書の技術とは違うと思いますが別の話題としておきます。

さて、マッピングから梗概を作成するときには項目の選択と順序、項目の階層構成（大見出し、中見出し、小見出しなど）が大切です。マッピングから一番大切な論理の流れを抽出して梗概を構成します。一般的には論理の流れは次のようになります。

1. 報告書の扱う問題は何か。
2. どのような資料を使い、どのように分析したか。
3. どのような結果がでたか。
4. この結果は報告書の対象にどのような意味を持つか。

報告書の読者は報告書を読むときに上記のような意識を持っていますから、この読者の意識に対応した構成を持つ報告書が読者にとってわかりやすい報告書になります。

梗概は一般的に次のような構成になります。

1. Executive summary
2. Introduction
3. Analysis
4. Conclusion
5. Appendix
6. Reference

Executive summary は報告書の要約で、20ページを超える報告書ではよくこの要約を報告書につけることを要求されます。もともとは忙しい executives (管理職)の人のための要約、という意味です。しかし報告書の一部で誰でも読めるわけですから、いまはまずこれを読んで報告書の全体像をつかみ、それから報告書の本文を読む、というようになります。Executive summary は報告書の本文が完成してから最後に書きます。

Introduction では報告書の目的（どのような問題をなぜとりあげたか）問題の分析方法、結論の要点を書きます。introduction も報告書の大半が終わってから書きます。

Analysis が報告書の核の部分で、問題点の提出、資料の分析をします。

Conclusion では分析の結果、結果が報告書の読者にどのような意味を持つかの分析、結果の基づいた提案を書きます。

Appendix は報告書の本文に入れてないが大切な図表、資料の抜粋などを書きます。

Reference は報告書が論文で資料の出典を明確にしなければならないときに書きます。Reference の作成方法はいろいろな形式があり、それぞれの研究分野でこの形式が決まっていますから、この形式に従います。

例：

**Analysis of the Economic Contribution  
of the Northern Alberta Development Council Region  
to Alberta and Canada**

Table of Contents

- 1 Introduction
- 2 NADC Region's Contribution to Alberta Exports
  - 2.1 How Did Alberta's Trade Balance Change?
  - 2.2 NADC Region's Contribution to Alberta's International Exports
  - 2.3 NADC Region's Contribution to Alberta's Interprovincial Exports
    - 2.3.1 Oil and gas exports to other provinces
    - 2.3.2 Agricultural exports to other provinces
- 3 NADC Region's Contribution to Alberta's Capital Investment
  - 3.1 Capital Investment in the NADC Region
  - 3.2 Investment Prospects for the NADC Region
- 4 NADC Region's Contribution to Industrial Supplies
  - 4.1 Materials and Supplies Purchased by Manufacturing Production in the NADC Region
  - 4.2 Machinery and Equipment Purchased for Investment in the NADC Region
  - 4.3 Construction Materials and Labour Purchased for Investment in the NADC Region
- 5 NADC Region's Contribution to Employment Earnings
- 6 NADC Region's Contribution to Revenue of Government
  - 6.1 NADC Region's Contribution to the Revenue of Municipal Governments
  - 6.2 NADC Region's Contribution to the Revenue the Government of Alberta
  - 6.3 NADC Region's Contribution to the Revenue of the Government of Canada
- 7 NADC Region's Relative Economic Contribution to Alberta and Canada
  - 7.1 Comparison of Total Contribution
  - 7.2 Comparison of Per Capita Contribution
  - 7.3 Implications for the NADC Region

Appendix A: Statistical Tables

Appendix B: Data Sources and Methods

上の例では次のところが他の部分と項目の書き方と階層構造が違ってきます。

- 2 NADC Region's Contribution to Alberta Exports
  - 2.1 How Did Alberta's Trade Balance Change?
  - 2.2 NADC Region's Contribution to Alberta's International Exports

## 2.3 NADC Region's Contribution to Alberta's Interprovincial Exports

### 2.3.1 Oil and gas exports to other provinces

### 2.3.2 Agricultural exports to other provinces

項目の書き方は文でも名詞句でも良いですが、梗概全体として同じ書き方を使います。上の例でもし項目を文で書けば次のようになるでしょう。

- 2 How much did the NADC Region contribute to Alberta's exports?
  - 2.1 Alberta's Trade Balance change over the last ten years?
  - 2.2 How much did the NADC Region contribute to Alberta's international trade?
  - 2.3 How much did the NADC Region contribute to Alberta's exports to other provinces in Canada?

文による梗概の項目は梗概が短く、項目の内容が多岐にわたる場合には項目の内容を説明できるので有効です。しかし上の例のように報告書全体の視野が限られていてその中でいくつか関連した項目を同じ形式で分析するような場合には、名詞句を使用したほうが梗概全体を読みやすくします。

2.3 はしたに 2.3.1 と 2.3.2 というほかには無いもう一段階下の階層の項目が追加されています。項目の階層はこの項目を報告書全体の構成の中でどれだけ細部にわたって記述するかということを示します。2.3.1 と 2.3.2 は報告書のほかの部分と較べて一段階詳しく記述することをしめています。特別の理由があるときにはこのようにすることが必要ですが、一般的には項目の階層構造は報告書全体として統一があるようにします。

実際の報告書では次のようにしました。

- 2 NADC Region's Contribution to Alberta Exports
  - 2.1 Alberta's Trade Balance Change
  - 2.2 NADC Region's Contribution to Alberta's International Exports
  - 2.3 NADC Region's Contribution to Alberta's Interprovincial Exports

項目の階層を示す数字の組み合わせはいろいろあります。

- 1 大項目
  - 1.1 中項目
    - 1.1.1 小項目
  
- I. 大項目
  - A. 中項目
    - 1. 小項目

報告書の種類によってはどのような階層の数字の組み合わせが決まっている場合もあります。

梗概は読者に報告書全体の構成を示すだけでなく、報告書を書くときにもそれぞれの項目が報告書全体の中でどのような位置を占め、どのくらいの細部まで書くかの指標になります。梗概を作成すれば、報告書を Introduction から書き始める必要はなく、書きやすい項目から始められます。

## 段落 (paragraph)

梗概が完成して報告書の構成が決定したら、いよいよ報告書の項目を書き始めます。項目は梗概の始めから書き始める必要はなく、一番書きやすいところから始めるとよいでしょう。

項目はいくつかの段落から構成されます。段落は複数の文の集合です。日本語の報告書にも段落はありますが、英語の報告書では段落の構成の方法が日本語よりも確立しています。段落は次のような要素、性質を含んでいなければなりません。

### 1. 段落の内容が一つの題目に統一していること (unity)

一つの段落では一つの題目 (topic)、関心(focus)だけを記述します。ある題目から始めて、同じ段落で新しい題目に移ると読者は混乱します。段落は読者にある題目を一番理解しやすい形で一つのかたまりとして伝えるものです。新しい題目は新しい段落で記述します。

一つの題目の記述といっても報告書を書く人によって段落の長さは変わります。長い段落でも文と文の関係を明確にすることで読者に統一した内容を伝えることは可能です。ただし傾向としては段落の長さはだんだんと短くなってきています。世の中が忙しくなり、報告書をじっくりと読むから、すばやく内容を把握する、というように変わってきています。短い段落のほうが段落の統一性を保つことがやさしくなりますが、段落と段落の関連をはっきりとさせる必要が生じます。

### 2 . 段落の内容が首尾一貫していること (coherence)

一つの題目について記述している段落でも、内容の書き方が首尾一貫していなくては読者は混乱し、同じ段落を読み返して内容を理解しなくてはなりません。読者が段落を始から終わりまで一回読んだだけで内容が理解できるような書き方をします。

このためには段落の文章の構成に規則性を持たせることが役立ちます。規則性を持たせるには次のような方法があります。

- 読者がすでに知っていることから始めて、新しいことに移る。
- 一般的なことから始めて、特別なことに移る。
- 特殊な例から始めて、内容を一般的なことに伸ばす。
- 時間的な経緯を追って記述する。

また文の書き方の技術としては次のようなことに注意します。

- 段落の中で同じ事柄について書くときは同じ名詞を使う。
- 文章の並列構造をつかう。
- 記述の名詞を代名詞で置き換えるときには代名詞が示すものが明確にわかるようにする。離れた文に出てくる名詞は代名詞を使わずに名詞を使う。
- 文と文の論理関係を明確にする副詞、副詞句 (So, therefore, thus, next, etc.)や従属節 (... because A; When A, then .... etc.)を使う。

図表を使うことは視覚的に明確な印象を読者にあたえ、また数値で問題の全体像を明確にすることもできます。ただし、報告書を書く人には図表の意味が一目瞭然に思えても、読



者にはそうでない場合があります。図表は文で書く内容と対応するようにし、図表の内容、読み方も文で記述する必要があります。

### 3 . キーセンテンス ( key sentence)

キーセンテンス ( topic sentence ということもあります ) は英文の段落の特徴です。キーセンテンスは段落で取り上げる題目を短く記述したものです。キーセンテンスの無い段落もありますが、キーセンテンスを入れることで読者が段落の内容を把握することが容易になります。キーセンテンスは段落の始め、中途、終わりに置くことができますが、段落の始め、またはそれに近い場所に置くようにすると段落の文章が書きやすくなります。

#### 段落の例

段落の書き方の要点を私の報告書を例にして説明します。悪い例を赤字で添削してあります。

#### 2.2 NADC Region's Contribution to Alberta's International Exports

~~In this section, we estimate the value of Alberta exports that is originated in the NADC Region<sup>1</sup>. The NADC Region is a major producer of agricultural products, oil and natural gas, and forest products in the province. These industries in<sup>2</sup> the NADC Region ~~is-are~~ highly export-oriented and ~~has-have~~ been a major contributor to Alberta's international exports. Since<sup>2</sup> Oil and gas production in the NADC Region is expected to increase in the coming ten years-, ~~the~~ NADC Region will remain as a major driver of Alberta's international trade.~~

1. この段落全体がこの項目の導入部になっていますが、段落自体のキーセンテンスとして 1 行目を入れました。
2. 文と文のつながりをつけて段落全体の coherence を向上しました。

~~Since Alberta's export statistics were available only for the province as a whole-, We-we estimated the value of exports originated in the NADC Region for agricultural products, oil and natural gas, and forest products by applying the NADC' Region's percentage share of production ~~those industries in the NADC Region out of to~~ Alberta's total exports<sup>1</sup>. The data used to calculate ~~the~~ the NADC Region's percentage shares were obtained from: ~~of oil and- was-were obtained from the Department of Alberta Energy, the percentage share of agricultural products was obtained from the Agricultural Census of Canada, and the percentage share of forest products was obtained from the Alberta Forests Products Association.~~~~

- Oil and gas – the Department of Alberta Energy;
- Agricultural products – the Agricultural Census of Canada, and
- Forest products – the Forests Products Association of Canada<sup>2</sup>.

1. 一行目をキーセンテンスにしました。
2. 箇条書きの並列構造にしました。

#### 最後のコメント

英文の報告書の構成は、まず梗概で全体像を論理的に明示し、それぞれの項目はキーセン

テンスで内容の要点を示す、という多層の論理構造になっています。報告書の多層の論理構造とブレイン・イングリッシュの文体を用いた記述、この二つを練習すれば英文報告書の作成がやさしくなります。